

第9回新鋭俳句賞

準賞

命（みこと）

森 雅紀

命

- 1 立春や枕を鳴らす耳の脈
- 2 春草を踏む春草のこちして
- 3 息継ぎのなき囁りとなりにつけり
- 4 鳥去りてより白梅の佇まひ
- 5 水残るところ吹かれて春の泥
- 6 蛇穴を出づ山の風川の風
- 7 直角の膝に鞆や新社員
- 8 バーガーに手を合はせをり新社員
- 9 樹から樹へ風移りたる立夏かな
- 10 一の滝二の滝息を継ぐ間なく
- 11 滝飛沫すぐ深淵の色となり
- 12 相性の誰とも合はず水馬
- 13 命の名つく神あまた夏木立
- 14 千余年参拝絶えずほととぎす
- 15 しりとりに中国語入れ帰省の子
- 16 明日帰る長男次男若牛蒡
- 17 七夕笹翼のごとく畳まるる
- 18 城壁を越ゆる大樹や虫の闇
- 19 秋声やなきがら包むバスタオル
- 20 種瓢いつもの一間灯りをり
- 21 カーテンの内側に裸婦十三夜
- 22 食はれるる蠃螂の斧宙を搔き
- 23 共食ひの翅残りゐる小春かな
- 24 さゆらぎの三四郎池冬に入る
- 25 靴音を追ふ靴音や冬木立
- 26 ごきぶりの足をひきずる冬日かな
- 27 寒灯歯の削らるる匂ひして
- 28 息を吸ふたびに尻浮き冬至の湯
- 29 寒鯉の大きな幅の水輪かな
- 30 羽ばたいて大白鳥の獣声